

WAKA-P

和歌山県文化情報誌 ワカピー

関西から

文化力
POWER OF CULTURE

2013年
1・2月号

Vol. 47

Wakayama Culture and Arts **POWER**

【和歌山癒しの電車紀行】

明治から100年続く加太線

【南海電鉄 / 加太線】

明治45年開業以来、ほとんど当時のままで使われている加太駅舎。終戦後は行楽地への玄関口として親しまれるようになり、今も地元住民や観光客を運ぶ大切な路線として親しまれています。

南海 加太駅

NANKAI KADA STN.

Contents

アーティストメッセージ…2

和歌山県文化表彰受賞者…3

イベントガイド…4・5

和歌山癒しの電車紀行…6

大好き和歌山 …7

カルチャーインフォメーション…8

artist message

アーティスト メッセージ

大衆芸能としての落語を身近に 本格的な上方落語を紀南エリアにも

2012年に落語家生活25周年を迎え、ますます芸に磨きのかかる桂枝曾丸さん。新年はさらに初心に立ち返り、落語を見たことがない場所にも足を運んで、大衆芸能としての笑いを届けていきたいと、1月27日(日)に太地町公民館で古典落語が披露されます。

Q 2012年を振り返って、どんな1年でしたか？

A 25周年という落語家人生の節目を迎えた、記念すべき年でした。14年前に、今は亡き五代目桂文枝から“枝曾丸”の名をいただき、和歌山を中心に活動を続けてきました。一風変わったおばちゃんの格好で地元の笑いを届ける「和歌山弁落語」のほか、新作の人情ばなし、また和歌山市での年に一度の独演会「わかやま芸品館」も、もう10年以上になります。最近では、和歌山だけでなく大阪など他府県でも、いろいろな場所に出番をいただき、落語を披露してきました。県外でも和歌山弁落語が定着しつつあるようで、楽しみにしてくれているファンもいます。和歌山に馴染みがなくても、落語初心者でも、若い人でも、愛着をもってもらえるのは、和歌山弁

を交えつつの物語性。落語の笑いの一つでもある方言を取り入れた言葉遊びが、皆さんに通じているからだと思います。

Q 25周年の節目を機に力を入れていることは何ですか？

A 五代目文枝師匠の得意とした古典落語を、もう一度初心に立ち返って、しっかりと皆さんにお届けしたいと思っています。話の内容もさることながら、太鼓や三味線の“はめ物”を使った賑やかな雰囲気も、実際に体感してもらいたいですね。落語の間に、はめ物が効果音となってさらに話を盛り上げてくれる、上方落語の醍醐味です。生で聞けば、一回で通になること、間違いなしです(笑)。もう一つ、これからの課題でもあり、落語家の務めとして、今後はもっと落語を見たことがない人たちに笑いを伝えていきたいと考えています。特に紀南エリアですね。昨年は、紀伊半島豪雨の災害復興ボランティアで、熊野川や本宮、日高川、美山にも足を運びましたが、まだまだ落語を見たことがないという人が、たくさんいらっしゃいました。落語は、庶民の娯楽として栄えた大衆芸能です。住んでいるエリアに関係なく、笑い

Profile

落語家
桂 枝曾丸さん
かつら しそまる

昭和43年生まれ、和歌山市の出身。同62年、桂小文枝(故五代目文枝)に入門。平成10年に二代目桂枝曾丸を襲名。翌年、漫画家マエオカテツヤさんとの共作「和歌山弁落語」や新作家人情ばなしの制作を手掛け、和歌山市での独演会「わかやま芸品館」をスタート。全国各地で独演会を意欲的に開催する一方、テレビキャスターやコラムニストとしても活躍。同21年5月に「和歌山県知事表彰」、翌年11月「和歌山市文化奨励賞」受賞。



の一つとして皆さんの身近にあることが大切だと思っています。

A その取り組みの一つが、平成24年度文化芸術ふれあい事業の「古典落語」ですね。

Q 年明けの初笑いにぜひ、お越しください。1月27日(日)午後6時から、太地町公民館で開催します。私以外にも、有田市出身の桂福矢のほか、英語落語でおなじみの桂かい枝、笑福亭喬介といった話題の噺家が大集合します。情緒満点の寄席を演出するのは、三味線のはやしや律子。本格的な上方落語をお楽しみください。

Q 2013年の意気込みをお願いします。

A 和歌山弁落語は、方言として和歌山市が中心になっています。今後の新作落語には、地方の伝説や偉人の話を交えて、和歌山全体に通じる内容を創り込んでいきたいと思っています。南方熊楠の話や妖怪伝説など、ためになって、住んでいる町を誇りに思える面白落語を用意しています。また春には、CD「和歌山弁落語集」の第4弾が発売予定。パワフルにコミカルに“和歌山のおばちゃん”が弾けます!!

1/日
27

平成24年度文化芸術ふれあい事業 古典落語

- 開 演／午後6時
- 場 所／太地町公民館
- 入場料／無料
- 出 演／桂枝曾丸、桂福矢、桂かい枝、笑福亭喬介、はやしや律子(三味線)
- 演 目／当日のお楽しみです。
- 主催／和歌山県、和歌山県地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ事業実行委員会、太地町教育委員会
- お問い合わせ／太地町教育委員会 TEL.0735-59-2335





和歌山県文化表彰とは、和歌山県の文化向上・発展に
顕著な功績のある人たちに贈られる賞です。



平成23年度 和歌山県文化賞



歌手

坂本冬美(さかもと ふゆみ)さん

昭和42年生まれ、上富田町出身。同61年、NHK勝ち抜き歌謡天国和歌山大会に出場し優勝。作曲家・猪俣公章氏の内弟子となる。翌年「あばれ太鼓」でデビュー。その年の日本レコード大賞新人賞ほか、各賞の新人賞を受賞。NHK紅白歌合戦には同63年の出場を皮切りに連続出場。平成21年「また君に恋してる」のヒットで若い世代からも支持を得る。



「名誉ある賞をいただき、大変光栄です。その名に恥じないよう、ますます精進しなければと、身の引き締まる思いです」と、和歌山県文化賞受賞の感想を話す坂本冬美さん。強さと妖しさを併せ持った抜群の歌唱力で、多くのファンを魅了し、今や日本を代表する演歌歌手として活躍されています。



新装となった和歌山県民文化会館で、坂本冬美さんのコンサートが開催されます。4月1日(月)午後2時半～と午後6時半、2日(火)午後1時～の3公演。

昭和62年の「あばれ太鼓」でデビュー後、日本レコード大賞新人賞をはじめ、その年の各賞の新人賞を総なめにし、翌年からはNHK紅白歌合戦に連続出場。平成8年には「夜桜お七」で紅組のトリを務めるなど、現在は演歌歌手として揺るぎない地位を築き上げています。

「どんなジャンルの方とご一緒しても、自分らしさを忘れないようにしています」。坂本さんは演歌だけでなく、さまざまなジャンルにも果敢に挑戦。細野晴臣さんや忌野清志郎さんらとのユニット「HIS」も、幅広い活動の一つです。また記憶に新しい焼酎のCMソングにも起用された「また君に恋してる」は、中高年だけでなく若い世代からも支持される大きなきっかけに。同曲で日本レコード大賞優秀作品賞や日本レコード大賞特別賞なども受賞しています。

平成20年からは、和歌山ふるさと大使第1号としても活躍。テレビなどで和歌山の魅力を存分にアピールしてくれています。「山と海の景色や、山と海のグルメなど、和歌山は自然

の両方が楽しめる素晴らしい場所。そこに住んでいる人たちの、おおらかで、あくせくせず、人懐っこい性格も大好きです」。

一昨年の紀伊半島豪雨で被災した人々を励まそうと、那智勝浦町でコンサートを開催したり、田辺市の仮設住宅を訪問した坂本さん。自身の原動力そのものが、ふるさと和歌山にあると言い、海や山、人からたくさんパワーをいただいてこそ歌うことが出来るのだと、熱く語ってくれました。

ちなみに和歌山に帰省された際は、どのように過ごしているのでしょうか。「何も考えず温泉に入ったり、のんびりと過ごします。気候の良い時は、ゴルフに出かけるのも楽しみです」。

11月にはリクエストアルバム「桜」が発売。さらに今年4月には和歌山県民文化会館でのコンサートが控えています。「私も今から楽しみにしております。いろいろとある見どころの中でも、やっぱり“岸壁の母”を生でじっくりお聞きいただきたいです」と話してくれました。

県内の文化・イベント情報が検索できます

■わかやま文化情報館 <http://www.wacaf.or.jp/search/>

県内で開催される文化・イベント情報をインターネットで検索できる「わかやま文化情報館」を開設しています。「情報館」では地域・ジャンル・開催年月を指定することにより、該当するイベント情報が一覧表で表示され、詳細を見ることが出来ます。

「わかやま文化情報館」にイベント情報の掲載を希望される主催者の方は、情報館の「イベント情報の掲載依頼」フォームに必要事項を記載の上、送信してください。イベント情報には画像を1枚掲載できます。JPEG等の画像データはフォームに添付して送信できます。イベントのパンフレット・チラシ・案内はがき等の印刷物があれば、別途財団まで郵送ください。

掲載の可否につきましては、いただいた情報を検討のうえ決定します。詳細については、下記までお問い合わせください。

■問い合わせ先／(財)和歌山県文化振興財団 TEL.073-436-1331 〒640-8268和歌山市広道20番地 第3田中ビル2F



1/20

親子でコンサートに行こう!! ~0歳児から入れる音楽会~

大阪交響楽団のメンバー4人+ピアノと楽しいお話。大人も赤ちゃんも一緒に楽しめるコンサートです。当日は、ホンモノの楽器を体験できるコーナーやお子様に素敵なプレゼントがあります。家族みんなで素敵なひとときをお過ごしください。

大阪交響楽団

1980年創立。楽団代表・敷島博子が「聴くものも、演奏するものも満足できる音楽を」モットーに提唱。いつも聴衆を熱く感動させるその演奏は、「魂の叫び」「情熱の音」として評されている。平成21年度(第64回)文化庁芸術祭「芸術祭大賞」を受賞。2010年4月、楽団名を「大阪交響楽団」と改称。(旧大阪シンフォニカー交響楽団)



司会 山本かずみ



- 開演 / ①午後1時30分 ②午後4時(開場は①②とも30分前)
- 場所 / 海南市民交流センター
- 入場料 / 大人1,000円、子ども500円、親子ペア券1,200円
※子ども料金は高校生まで。3歳未満無料(ただし、お膝の上)
※当日券は、各300円増し。全席自由席。
- 司会 / 新井宗平、山本かずみ
- 出演 / 大阪交響楽団メンバーによる四重奏+ピアノ
チェロ荒木雅美、ヴィオラ坂口雅秀、ヴァイオリン村上慈
ヴァイオリン宮崎真弓、ピアノ吉岡麻梨
- 演奏曲目 / 久石 譲「となりのトトロ」より「さんぽ」
黒須克彦 夢をかなえて ドラえもん
モンティ チャールダッシュ 他
- 主催・お問い合わせ / 和歌山県、(財)和歌山県文化振興財団
TEL073-436-1331

司会 新井宗平

NHK教育TV「たのしいきょうしつ」の歌のお兄さん。全国各地で繰り広げる自身のファミリーコンサートは1000回を超える。まるで魔法にかかったように会場が一体となって作り上げる独特のコンサートは何度も訪れるリピータも多い。



1/27

第7回音の杜コンサート

※演奏曲目を変更することがあります

和歌山県新人演奏会出演後も演奏活動を積極的に継続され活躍中の方々によるコンサートです。声楽2人、ピアノ2人、サキソフォン1人の出演により多彩な演奏がお楽しみいただけます。

- 開演 / 午後2時
- 場所 / 海南市民交流センター
- 入場料金 / 一般1,000円、高校生以下500円(全席自由)
- 主催・お問い合わせ / 和歌山県、(財)和歌山県文化振興財団
TEL073-436-1331

第1部



【声楽】
山本明良 やまもと あきよ
(みなべ町出身)

第33回和歌山県新人演奏会出演

プログラム

★成田為三作曲/林古溪
作詞/浜辺の歌
★木下牧子作曲/やなせ
たかし作詞/さびしいカシの
木 他



【サキソフォン】
松並真嗣 まつなみ まこと
(和歌山市出身)

第37回和歌山県新人演奏会出演

プログラム

★H.トマジ/バラード 他



【ピアノ】
天羽博和 あもうひろかず
(岩出市在住)

第34回和歌山県新人演奏会出演

プログラム

★F.ショパン/『12の練習曲
作品10』より第12番「短調『革命』」
★C.D.ビュッシー/『映像』より
「水の反映」「金色の魚」 他

第2部



【声楽】
吉田麗永 よしだ かずえ
(田辺市出身)

第35回和歌山県新人演奏会出演

プログラム

★A.ドヴォルザーク/オペラ「ルサルカ」より「月に寄せるうた」 他



【ピアノ】
細田紗希 ほそだ さき
(和歌山市出身)

第30回和歌山県新人演奏会出演

プログラム

★J.S.バッハ/トッカータ
ニ長調 BWV.912 他

3/金
8演劇集団和歌山「ジント懐かしシネマの夜」~築地未来座物語~
公演をより楽しく観るための入門講座

3月31日(日)の公演まで3週間余りと日が迫ってくるなか、公演に先立って、物語の作者からのお話や出演の方々の声が響き渡る稽古場等から、公演の魅力をあらゆる角度からラジオ放送で紹介します。

- 放送日 / 3月8日(金)午後9時から午後10時
- 番組放送 / WBS和歌山放送

1/月 火
28・29

平成24年度優秀映画鑑賞推進事業 名作シネマシアター

日本初の麻酔薬の開発者として名高い、紀州の医師華岡青洲をめぐる母と妻の葛藤を中心に描いた「華岡青洲の妻」は有吉佐和子の同名原作を、新藤兼人の脚本を得て増村保造が映画化した作品です。他3作品を一挙上映します。

■開 演／両日とも午前10時(開場／9時30分)
■場 所／紀南文化会館大ホール
■入場料／前売券400円、当日券450円
※全席自由席(2日間入場できます)
■主催・お問い合わせ／和歌山県、(財)和歌山県文化振興財団
TEL073-436-1331
■共催・お問い合わせ／田辺市教育委員会 文化振興課
TEL0739-26-9943

1月28日(月)

愛の讃歌 10:00～11:34
稲妻 12:00～13:27
華岡青洲の妻 13:35～15:14
浪華悲歌 15:25～16:37

1月29日(火)

華岡青洲の妻 10:00～11:39
浪華悲歌 12:10～13:22
愛の讃歌 13:30～15:04
稲妻 15:15～16:42



愛の讃歌
1967年 松竹
●原作／M.パニョール
●脚本・監督／山田洋次
●出演／倍賞千恵子、中山仁
伴淳三郎ほか



稲妻
1952年 大映
●原作／林芙美子
●監督／成瀬巳喜男
●出演／高峰秀子、三浦光子
香川京子ほか



華岡青洲の妻
1967年 大映
●原作／有吉佐和子
●監督／増村保造
●出演／市川雷蔵、若尾文子
高峰秀子ほか



浪華悲歌
1936年 第一映画
●原作・監督／溝口健二
●出演／山田五十鈴、梅村蓉子
新藤英太郎ほか

2/日
24

第7回和歌山県民俗芸能祭

県内各地で地域の人々によって伝承されてきた民俗芸能5団体が集まり、第7回和歌山県民俗芸能祭を開催します。それぞれの公開場所から踊りや獅子舞が紀南文化会館の舞台上で繰り上げられます。どうぞお見逃しなく。

■出演団体／
【平治川の長刀踊】平治川長刀踊保存会(田辺市)
【虎松踊り】虎松踊り保存会(紀の川市)
【西岩代の子踊り】岩代の子踊り保存会(みなべ町)
【大瀬の太鼓踊】大瀬太鼓踊保存会(田辺市)
【堅田の獅子舞】堅田祭保存会(白浜町)

■開 演／午後1時
■場 所／紀南文化会館大ホール
■入場無料／整理券(1月中旬から配布予定)
■整理券配布場所／紀南文化会館、白浜町教育委員会、みなべ町中央公民館、上富田文化会館、御坊市民文化会館、粉河ふるさとセンター、貴志川生涯学習センター、かつらぎ総合文化会館、県立橋本体育館、和歌山県文化遺産課、県民文化会館駐車場管理事務所
■郵送による申し込み方法／往復はがきに民俗芸能祭観覧希望と明記し、住所氏名希望人数(1枚あたり4人まで)を明記の上、下記へお申し込みください。2月17日(日)消印有効
■主 催／和歌山県、(財)和歌山県文化振興財団
■協 力／田辺市教育委員会、和歌山県民俗芸能保存協会
■お問い合わせ／〒640-8268 和歌山市広道20番地 第3田中ビル2F
(財)和歌山県文化振興財団 民俗芸能祭係 TEL.073-436-1331

3/日
31

演劇集団和歌山

「ジンタ懐かしシネマの夜」～築地未来座物語～

作:楠本幸男
演出:山入桂吾

初演(平成13年)において音楽・歌を取り入れ好評を博した人情喜劇をワンダーランド(吉本新喜劇)の特別出演を得ての再演です。

■開 演／午後2時
■場 所／粉河ふるさとセンター大ホール
■入場料／前売一般2,000円、学生(中高生)1,000円、
当日一般2,300円、学生(中高生)1,300円
全席自由、1月中旬から発売
■協 力／紀の川市、紀の川市教育委員会
■後 援／和歌山県教育委員会
■主 催／和歌山県、(財)和歌山県文化振興財団
■共 催／演劇集団和歌山
■お問い合わせ／(財)和歌山県文化振興財団
TEL.073-436-1331
演劇集団和歌山
TEL.073-445-4537(夜)
■出 演／演劇集団和歌山の団員ほか
■特別出演／ワンダーランド(吉本新喜劇)

時は1931(昭和6)年、満州事変が勃発したころ、和歌山市の活動映画館、築地未来座では楽士が若い娘と駆け落ち、さらに弁士が借金取りから逃げ消えてしまうが...。何とか代役による急場をしのいでの大騒ぎ。時代は無声映画からトーキー映画へ。繁栄を誇った築地未来座もトーキーを導入。職を失った弁士や楽士。将来を悲観し自殺を決意する楽士。紙芝居屋に商売替える弁士。そして、築地未来座経営者の養女のもとに借金取りがやってくるという噂。そこで考え出した撃退法が、借金取立人をうまく映画のストーリーにのせるというもの。元弁士・元楽士など築地未来座の従業員と活動写真を見に来たお客さんを加え、一世一代の映画が作られる。はたして築地未来座の行方は...



演劇集団和歌山

1970年に創立された県内で活動するアマチュア劇団のリーダー的存在であり、他劇団の目標となっている。劇団員は公務員、教員、会社員、主婦、学生など様々な職業の人が集まり、年間1～2回の公演を行っている。創作劇に力を入れ、和歌山でしか観られない演劇が県民の方の注目を集めている。平成16年度和歌山県文化奨励賞受賞

前回公演より

※ジンタ 映画は当初、音がなく、日本では弁士が語り、楽団の生演奏が音を添えました。楽団はジンタと呼ばれ、数人の小編成で演奏されました。

和歌山癒しの 電車紀行

和歌山県内を走るのんびり電車を
シリーズで紹介します。

明治から100年続く加太線

南海和歌山市駅から紀の川を越え、淡嶋神社などで知られる加太まで続く加太線。100年前から残るノスタルジックな駅舎にも注目です。



加太駅のホームの屋根を支える柱はドイツ製のレールを曲げて作られたもの。明治の名残が今も残されています。



ノスタルジックな雰囲気が残る加太駅

開業時に加太駅の屋根に乗っていた「とんがり」も構内に展示されています。

の車内アナウンスが流されています。
「加太線・よしもとお笑い列車」の詳細は、
下記アドレスを参照に。

<http://www.nankai.co.jp/traffic/info/kadayoshimoto/index.html>

南海電鉄 加太線

- TEL.06-6643-1005 南海テレホンセンター
(8:30~18:30/年始を除く)
- 運行区間/和歌山市駅~加太駅

一世紀にもおよぶ長きにわたり、街の移り変わりを見守り続けた南海電鉄・加太線。開業は明治45年。加太から和歌山市までを結ぶ約10kmの路線は、地元住民の大切な交通手段であり、また磯ノ浦や加太へ観光客を運ぶ行楽列車として、多くの人に愛されてきました。紀の川を越え、終点の加太駅まで、中松江や二里ヶ浜、磯ノ浦などの町並みを抜けて走る約30分の電車旅です。

終点の加太駅はほとんど当時のままで使われ続けている駅舎で、係員の入り口の上の採光窓のガラスは開業当時のものが今も木製のサッシに収まっています。ホームの屋根を支える柱はドイツ製のレールを曲げて作られたもの。

ローカル線のクラシカルな雰囲気をより多くの人に楽しんでもらおうと、「加太線・よしもとお笑い列車」が、3月3日まで運行中。人気芸人によるギャグ満載

生活に広がる国際交流の輪 和歌山県国際交流センター

1月・2月のお知らせ

ブラジルから高校生がやってくる!

中南米に移住した県人の子弟が和歌山でのホームステイを通して、日本の風俗習慣を理解し、帰国後は、日本の青少年との継続的な交流を通じて、県人会活動に積極的に参加することを目的に、中南米海外移住者子弟受入事業を実施します。

- 受入期間:平成25年1月7日(月)~1月26日(土)
- 受入子弟:武井 フェリペ 安博さん
橋詰 エンリケ 直人さん

多言語サロン

中南米海外移住者子弟受入事業でブラジルから和歌山に来県する武井さんと橋詰さんに母国語のポルトガル語と英語、日本語で自国を紹介していただきます。

- 日 時:1月13日(日)13:30~15:00
- 場 所:国際交流センター交流ラウンジ
- 定 員:40名(要申込・参加無料)

インターナショナルカフェ

大正琴とボサノバの音楽を楽しみながら、お茶やお菓子を囲んで様々な国の人と色々な言葉で交流しませんか?

- 日 時:1月20日(日) 13:30~15:30
- 場 所:国際交流センター交流ラウンジ
- 定 員:150名(申込不要・参加無料)※ただし何か一品、食べ物か飲み物をお忘れなく

外国人のための「専門家による一日相談会」(新宮市)

- 日 時:2月2日(土)10:00~14:00(※受付は13:30まで)
- 場 所:新宮市職業訓練センター1階大教室
- 相談内容:法律、在留資格・帰化、保険・年金、教育、女性、生活一般情報など
- 対応言語:中国語、英語、フィリピン語
- 相談費用:無料
- その他:相談内容は秘密厳守、事前の申込み不要



10月28日に実施した「外国人のための防災講座、救命講習会」

〒640-8319 和歌山市手平2-1-2
県民交流プラザ 和歌山ビッグ愛8F
和歌山県国際交流センター
TEL:073-435-5240 FAX:073-435-5243
■開館時間/午前10時~午後6時30分(金曜は午後9時まで) ■休館日/水曜日・祝日、年末年始
<http://www.wak-kokusai.jp/>



第38回オラトリオ演奏会では、ソリストとして活躍している地元出身の久保美雪さんや木村洋子さん、島袋羊太さん、大元和憲さんを迎えて、メサイアの抜粋が披露されます。

オーケストラの美しさと迫力 3年ぶりの「メサイア」に期待

和歌山市交響楽団

毎年恒例となった「和歌山市交響楽団」のオラトリオ演奏会。第38回公演が、2月11日(月・祝)午後2時から、和歌山市民会館大ホールで開催されます。「今回は独唱に久保美雪さんや木村洋子さん、島袋羊太さん、大元和憲さんを迎えて、3年ぶりの“メサイア”を披露します。和歌山市内の中学校から合同合唱団の応援もやってきて、ベルゴレージ“スターバト・マーテル”の抜粋も発表。お楽しみください」。そう話すのは、同交響楽団の指揮者でもある小川雅之さん。現在70名にもなる大人数の一団を率いて、猛練習を重ねています。

創立は1974年1月、故・往住雅司和歌山大学教授の尽力により、和歌山市の委託事業団体として発足。県

下唯一の市民オーケストラとして、学校教育や地域行事とつながり、活動を続けています。活動の大きな柱は、前文で紹介したオラトリオ演奏会と、6月から7月に行われる定期公演。ほかにも、市民オペラやバレエにも参加。地元の芸術家との共演や、学校教育との連携の一環として、市内の中学校の合唱団との共同制作、和歌山出身の演奏家との共演にも力を入れています。38年にもわたる長き伝統を守り、音楽文化の振興と発展にも貢献。その寄与が認められ、2004年には和歌山市文化奨励賞を受賞しました。

「幅広い年齢層の楽団員で30代から40代が中心。最高齢は80代になります。職業も学校教諭や弁護士、医者や会社員などバラバラ。発足当

時の団員から新しい団員まで、入れ替わりもありますが、週一回の練習でチームの絆をつなぎ、本番に臨んでいます」と小川さん。同交響楽団のアットホームな雰囲気は、美しい音色とオーケストラならではの迫力。心に響く音楽は、ぜひライブで体感したいものです。

和歌山市交響楽団 第38回オラトリオ演奏会

- 日時／2月11日(月・祝)開演14:00～
- 会場／和歌山市民会館大ホール
- 料金／大人1,000円、学生500円
- 主催／和歌山市交響楽団
和歌山市響合唱団
- 共催／和歌山市中学校合同合唱団
- チケット／和歌山市民会館などで発売中
- お問い合わせ／事務局
090-3281-6457 (小川)
090-5974-5407 (西脇)

年のはじめに

あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。
県民文化会館は約2年間の耐震化工事を機にリニューアルし本年4月1日からオープンします。工事期間中は、県民の皆様方には大変ご迷惑をおかけしましたが、新しい県民文化会館にご期待いただくとともに、現在、4月1日以降のホール及び会議室、展示室等の予約受付業務を行っていますので、ご利用を賜りますようお願い申し上げます。

■抽選会の日程

大ホール	小ホール	抽選会日時
平成27年2月	平成26年2月	平成25年1月31日(木)午前9時
平成27年3月	平成26年3月	平成25年2月28日(木)午前9時

※会議室、展示室については、随時受付を行っています。

■抽選会実施場所／〒640-8268 和歌山市広道20番地 第3田中ビル 1階会議室B
(場所は、県民文化会館西隣(ホテルアパローム紀の国隣))

■予約チケットの受取・販売場所／県民文化会館駐車場管理事務所(ホテルアパローム紀の国向かい側)
営業日時：月曜日～日曜日(午前9時～午後7時)

■予約受付・問い合わせ／〒640-8268 和歌山市広道20番地 第3田中ビル 1階
(財)和歌山県文化振興財団 TEL073-436-1331 FAX073-436-1335



平成24年12月撮影

カルチャーインフォメーション

万葉館

☎073(446)5553

「万葉日本画展」

■1月20日(日)～3月31日(日)

前期:1/20～2/24、後期:2/26～3/31(最終日は15:00まで)

日本芸術院会員・清水達三氏の生徒作品の展示です。万葉集に詠まれた花々や風景等を日本画で表現した作品展で、前期(約23点)・後期(約32点)に分け、6号サイズの作品を展示します。



「翠峯(すいきょう)」清水達三

所和歌山市和歌浦南3丁目1700 所JR和歌山駅または南海和歌山市駅からバス「不老橋」下車徒歩約10分 ☑午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで) 所無※但し年末年始12/29～1/3及び設備機器等の点検日を除く 所入館無料 所

和歌山県立紀伊風土記の丘

☎073(471)6123

冬期企画展「くらしのなかの火と水」

■1月19日(土)～3月10日(日)

家屋を照らす灯器具は提灯や行燈からランプへ、やがて電気製品へと時代の流れとともに変わってきました。このようにこれら道具の変遷は、先人の知恵や工夫が練りこまれた結果であったと言えます。本展では私たちの暮らしで欠かすことのできない水と火にまつわる道具に焦点を当て、先人の知恵にふれ、暮らしに合わせて製作、用いられてきた道具の移り変わりも紹介します。



所和歌山市岩橋1411 所JR和歌山駅東口から和歌山バス「紀伊風土記の丘」行き終点下車徒歩約5分 ☑午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで) 所月曜(祝日の場合は次の平日) 所一般190円、大学生90円 ※高校生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方、県内在学中の留学生は無料(証明書提示) 所

和歌山県立自然博物館

☎073(483)1777

第7回クイズで楽しむ自然博物館！！

—自然博物館検定—

■1月27日(日)9:30～17:00

ふだんにげなく見ている展示には意外な発見や驚きがいっぱい！館内の展示やパネルをじっくり見ればわかるクイズ30問に答え、全問正解者には「自然博物館クイズマスターの証」を、それ以外の方には正解数に応じた「級」の認定証をその場で差し上げます。クイズを解きながらじっくり展示を見てくださいませんか？

- 参加対象：小学生以上
- 費用：入館料のみ必要
- 用意するもの：筆記用具・下敷きなど
- 参加申し込み：開催日当日自然博物館にて受付(事前申し込みの必要はありません)



所海南市船尾370-1 所JRきのくに線海南駅からバス「琴の浦」下車すぐ ☑午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで) 所月曜(祝日の場合は次の平日) 所一般460円 ※高校生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方、県内在学中の留学生は無料(証明書提示) 所

和歌山県立博物館

☎073(436)8670

企画展「和歌の浦の風景」

■開催中～1月20日(日)

平成22年8月国の名勝に指定された和歌の浦は、奈良時代から景勝地として有名で、近世には浅野氏や徳川氏の霊地・名所として整備・保護されています。本展では近世・近代の和歌の浦を描いた作品からその歴史を紹介します。

企画展「熊野水軍」

■1月26日(土)～3月3日(日)

鎌倉時代から戦国時代までの間、熊野地方には多くの武士がおり、強力な水軍として熊野衆とも呼ばれ、源平の合戦や南北朝間の争いなどにも大きく関わっていました。この企画展では、様々な資料から熊野で活躍した武士(水軍)の歴史をひも解きます。



和歌浦図屏風(部分)(館蔵)

所和歌山市吹上1-4-14 所JR和歌山駅または南海和歌山市駅からバス「県庁前」下車徒歩約2分 ☑午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで) 所月曜(祝日・振替休日の場合は次の平日)、年末年始(12/29～1/3) 所一般280円、大学生170円※高校生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方、県内在学中の留学生は無料(証明書提示) 所

和歌山県立近代美術館

☎073(436)8690

『特集展示 没後70年 建畠大夢』

■開催中～2月24日(日)

昨年没後70年を迎えた建畠大夢(1880～1942)は、和歌山県有田郡城山村(現在の有田川町)に生まれ、戦前戦中期の彫刻界で重きをなしました。この特集展示では当館所蔵品により、その造形の豊かさをご覧いただけます。



建畠大夢「おゆのつかれ」1913年(1970年鋳造)ブロンズ 高さ68.0cm

所和歌山市吹上1-4-14 所JR和歌山駅または南海和歌山市駅からバス「県庁前」下車徒歩約2分 ☑午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで) 所月曜(祝日の場合は次の平日) 所一般340円(団体270円)、大学生230円(団体180円) ※高校生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方、県内在学中の留学生は無料(証明書提示) 所

きのくに合唱セミナー



- 内 容 / 発声の基礎練習からはじめるセミナーです
- 講 師 / 原 盾二郎(県合唱連盟理事長)
- 参加料 / 無料
- 日 時 / 1月12日(土)午後1時30分
1月26日(土)午後1時30分
2月10日(日)午前9時30分
会場はいずれも和歌山県書道資料館
- 対 象 / 和歌山市内中学生



- 内 容 / 発声の基礎練習からはじめるセミナーです。皆さん一緒に歌ってみませんか？
- 講 師 / 原 盾二郎(県合唱連盟理事長)
- 参加料 / 無料
- 日 時 / 1月20日(日)午後1時30分
2月17日(日)午後1時30分
会場はいずれも新宮市福祉センター
- 対 象 / 一般の方

■主 催 / 和歌山県、(財)和歌山県文化振興財団

■お問い合わせ / (財)和歌山県文化振興財団 TEL.073-436-1331



和歌山県文化情報誌 ワカピー Wakayama Culture and Arts POWER

【発行日】平成25年1月

【発行】和歌山県

【編集・問い合わせ】(財)和歌山県文化振興財団(ワカフ) 〒640-8268 和歌山市広道20番地 第3田中ビル2F

☎073(436)1331 FAX 073(436)1335

【ホームページアドレス】http://www.wacaf.or.jp